

NPO法人になっても挑戦は続く!

私たちは、生活困窮者自立支援（パーソナル・サポート）モデル事業に関わる中で、相談者の深刻な事情を知らされ、急遽有志による「米一合」持ち寄り運動を開始しました。そして2013年7月、フードバンクにいがた（任意団体）を立ち上げました。それから5年——。食品の寄付・提供量は年々拡大してきましたが、そのため各種作業量が激増し、人手が不足し、運営経費の捻出に悩みました。そこで、この事業が長期的に維持できるよう運営組織を抜本的に見直し、社会的信用とより多くの団体・個人の支援を求めてNPO法人格を取得しました。（2017年12月25日設立）

このたび、これまでの任意団体を解散し、NPO法人フードバンクにいがたにすべて継承し、新たに出発しました。皆さん！ これからが本番です。同じ地域に住む住民同士、困ったときのお互い様（=ささえあい・協同）の精神で、皆さん一人ひとりのお力をお寄せ下さい。手元にある食品、寄付金（少額でも可）、あるいはお時間・労力…そのほか何でも結構です。ご連絡ください。共に手をとりあって、進んでいきましょう。 理事長 高見 優

二つの総会報告

(FBにいがた（任意団体）第6回総会並びにNPO法人FBにいがた第2回総会)

米どころ新潟でご飯が食べられない人の存在が知れ渡り、それを何とかしようとして立ち上がったFBにいがたでした。そして、活動の中で年々増加していく取扱い量やニーズの大きさも相まって、活動開始4年目にして事業運営は限界に近い状況となってしまいました。このような現状からの脱却と事業の展望を目指しNPO法人化することを2017年に決断しました。今回の二つの総会をもって任意団体のFBは解散し、これからはNPO法人のFBとして新たなスタートを切ることになりました。

食品提供団体の推移（右表）

4年間の活動の中で大きく増えてきた提供先は、児童養護施設と行政・緊急時支援団体。これは、子ども食堂の延びとパーソナルサポートセンターの扱件数の増大によります。

提供先団体・施設等	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
ふいふ生活困窮者支援団体	7	9	10	11
障がい者支援団体（施設）	10	14	17	22
福島避難者生活支援団体	3	4	4	5
児童養護施設団体 （子育て関連、子ども食堂等）	4	6	21	29
高齢者支援団体（施設）	3	3	3	4
行政・緊急時支援団体	13	24	33	35
その他団体（施設）	3	3	3	5
合計	43	63	91	111

収入		支出	
金額(千円)		金額(千円)	
団体会員費	1,000	人件費	2,400
個人会員費	600	管理維持費	1,134
助成金	1,200	事務・備品費	362
寄付金他	1,785	広報費	521
前期繰越	△147	その他	21
合計	4,438	合計	4438

2018年度 収支予算（左表）

規模拡大（特に食品の取扱量の拡大に伴い）食品管理の作業や倉庫の拡大が求められるようになり人件費と管理維持費が増大しています。ボランティアで参加していただけるスタッフや運営するための資金がますます必要になってきました。

	2017年度実績	2018年度目標
会 員	団体 47団体(89口) 個人 118人(162口)	団体 50団体(100口) 個人 150人(200口)
食品受取量	26トン	30トン
受け取り先	46団体(企業等)	50団体(企業等)
提 供 先	111団体(施設等)	150団体(施設等)

フードバンクにいがたは、事業開始5年目となりますが、これまで「もったいない」から「ありがとう」をスローガンに掲げ、フードバンク活動を通じて食品の無駄を削減する活

動の推進と同時に、貧困を支える団体等の活動に直接・間接的に関わり支援を進めてきました。つまり、経済的困窮者支援から社会的孤立を克服する運動へのチャレンジというものでした。こうした4年間の活動を踏まえ、より地域社会のニーズに対応し得る安定度の高い事業体をめざし、NPO法人として新たにスタートします。従って、これまでの事業を漫然と継続するだけでなく組織、財政、事業運営、他団体との連携のあり方等、これまでの活動を振り返り新組織にふさわしい、より強固な組織体制と健全な信頼性の高い事業運営をめざします。

総会記念：講演とシンポジウム

食べられなければ生きてはいけません!!

Waste not, want not.
無駄なければ、不足なし

4月22日(日)総会記念行事として、講演(14時~15時)とシンポジウム(15時10分~17時)を新潟市中央図書館(ほんぽーと)多目的ホールで開催した。

フードバンクにいがたは、これまで「食の問題と貧困問題(2015年)」「子ども食堂(2016年)」「ひとり親世帯を支える地域の力(2017年)」というテーマを掲げ、講演やシンポジウムを開催して来た。今回2018年は、「生活困窮者を支える」ことに焦点を当て貧困問題の更なる深堀りを試みた。生活困窮者とは、健康、学力、就労能力、家計やり繰り、所得、家族関係、地域づきあい、住居などに複雑に絡み合った困難を抱え貧困に陥っている人。そう言った生活困窮者の自立を支える仕組みで関わっている人を招待して話を聴いた。

講演は「子どもの貧困実態から見えるフードバンクの役割」というテーマで、阿部 彩 首都大学東京教授が講師を務めた。東京都の子どもの生活実態調査などのデータに基づいて、「食」では、食料が買えなくて空腹を体験していること。「学」では、努力しても裕福な子どもに上回る学力を得ることは難しいこと。「友」では、高校生の部活不参加、いじめなどで孤立傾向が見られたこと。「体験」では、海水浴、博物館・科学館・美術館、キャンプなどの体験が有意に欠如していること。等々多様な生活の貧困状況が示された。そして、こういった状況を抱える子供たちは東京都では約2割ほど存在するという。(出典：東京都 子供の生活実態調査中間報告 他)

貧困がもたらす子どもの生活の質の悪化と貧困の連鎖の問題を解決するにはどうすべきだろうか。

食の貧困に関しては、学校で朝ごはんを提供している足立区。パンやバナナをフードバンクなどから調達して、朝食を出している福岡の中学校の例があった。これらは、貧困の下流対策でフードバンク活動も主にこの範疇に入る。しかし、子どもの貧困を無くすには川上対策における政府介入が一番有効とOECD2006 Starting Strong IIで言及されている。結局、「一番重要なのは、子どもの貧困が、日本の最重要政策課題としての認識を広めること」が結論となった。これは、子どもの貧困を解消する事が国を豊かにする事に繋がるからとの説明があった。



阿部 彩 教授

新潟市には生活困窮者 約12万人(推計)。パーソナル・サポート・センターの毎年相談者数は約600人。

続いて、「生活困窮者の自立を支える仕組みづくり」~貧困課題の解決の糸口を探る~というテーマでシンポジウムが行われた。阿部 彩 教授をコメンテーター、村山伸子 県立大学人間生活学部部長をコーディネーターに迎えて、パネラーを蝦原 勝(市パーソナル・サポート・センター主任相談支援員)、寺尾千香子(自立支援ネットにいがた理事長)、新飯田 健(市福祉部保護室長)の3氏に努めてもらった。

どういった地域支援が必要か?

蛸原：高齢者になる前に支えることがより良い支援結果を見るのが分かった。「こんな支援があるよ」という情報を伝える支え方の構築も必要だと感じる。地域のおせっかい(節度ある介入)はあって良い。

寺尾：子どもの時に早く支援に繋がればという観点から繋がるシステムづくりは急ぎたい。

子ども食堂に関心のある方

子ども食堂ネットワーク 事務局

電話：03-5365-2296 FAX：03-5365-2298

メール：info@kodomoshokudou-network.com



生活困窮者支援に関心のある方

新潟パーソナルサポートセンター

電話：025-385-6851 FAX：025-385-6852

メール：niigata-pscenter@bz04.plala.or.jp



新飯田：困った時に安心感を持ってもらう支援システムを心がける。やはり、早期支援が大事で、小さな支援で始めた方が生活の安定に繋がりが易い。困窮はこじらせてからでは解決困難。そのため、「早く気付く→支援に繋ぐ」のシステムを地域につくることを目指している。また、支援側の横の連携づくりも強化が必要。区単位の支援連絡協議会の試みが始まっている。

寺尾：学校区で「要の人」づくりも必要。

フードバンク (FB) にどのような役割を求めるか？

蛭原：FB がなければ支援が出来ないケースが結構多い（緊急の一時生活支援事業の相談ケース）。

寺尾：全国それぞれの FB の特品（FB にいがたの場合はお米）を互いにシェアしあうことが出来るといい。

新飯田：食品ロス観点からの活動もしっかりやって欲しい。

まとめとして

阿部：①早期支援 ②横の連携 が要点と思った。

村山：地域で支えるシステムをどうつくるか行政（区）の取り組みが分かった。生活の自立安定のために先ず食べるのが大切だとあらためて感じた。子どもの頃の栄養不足は大人になってから大きな影響を及ぼすので、フードバンクの果たす役割は大きい。



村山伸子教授

FB も含め民間団体も行政ももっと横に繋がろう!!

今回、アンケートの中で講演ならびにシンポジウムのパワーポイントの資料がなかったことが残念という意見を複数頂きました。今後は、講演のパワーポイント資料は出来るだけ用意することにします。シンポジウムの資料はその都度検討させて下さい。また、パワーポイントのトラブルでご迷惑をおかけしました。施設天井据え付けのプロジェクターの故障だったことが後で分かりました。

こずかいも 1500円とは 言い出せず (さいちん)

感謝状授与

フードバンクにいがたを設立してから丸 5 年経ち、通過点として NPO 法人にたどり着きました。この間本当に大勢の方々のご支援を頂きました。今回 NPO 法人に移行する一つの区切りとして、継続的に私たちの活動に理解をもち、元気・励みと勇気となるような行為で伴って歩んで下さいましたご支援者に感謝を表したく思い以下の個人と団体に感謝状を贈呈しました。

個人：西山京子様、倉島一様、JC クマール様、T 様（匿名希望） 団体：JU 新潟様、新潟労働金庫様、ライオンズクラブ国際部様、粹虎卵会様、女のスペースにいがた様。 皆様ありがとうございます。

食べ残しゼロ！ コースターに思いを込めて (オジサンのカンペイより)

宴会の食べ残しをなくすために、県労働者福祉協議会と共同で「20・10・0 運動」を取り組み始めました。最初の 20 分と閉会前の 10 分間は席で料理をいただき食べ残しゼロにするというものです。そして、啓蒙コースターを 1 万枚作成して、各団体に購入していただき売上金の一部を、フードバンクに寄贈するというものです。

コースターに対する思いは、もったいないからありがたいにつなげようとの素朴な思いです。宴会で多くの食材が粗末にされることのないように、美味しくいただくことに心がけようとのことです。

アンケートのなかで、「大きな組織に属したオジサンしかできない発想だよ」とのご意見をいただきましたが、オジサンなりに食の大切さと、フードバンクにつなげる信念をもち今後も取り組みを強化します。

会員・ボランティア随時募集中!!

◆今後のフードドライブの予定 ◆

- 6・8月 月10～20日 長岡市社協（原則偶数月の10～20）
- 7・9月 月10～20日 ながおか医療生協（原則奇数月の10～20）
- 毎月第一土曜日 10:00～12:00 新潟市秋葉区新津地域交流センター1階
- 毎月第二土曜日 10:00～12:00 新潟市中央区万代シネ・ウインド
- 毎月第二土曜日 10:00～12:00 北区豊栄さわやか老人福祉センター
- 毎月20日 10:00～12:00 南区臼井デイサービス「うすい」内
- 毎月第三土曜 10～12時 新潟市いくとぴあ食花JAきらきらマーケット内
- 毎月月末金曜日 10:00～12:00 新潟市東区区役所社会福祉協議会内
- 毎週月・木 新潟市西区小針 ささえあいコミュニティ生協新潟内
- 業務時間内 新潟市江南区横越「えんではよごし」
- 業務時間内 新潟市西区上新栄町「けやき食堂」
- 業務時間内 新潟市中央区社会福祉協議会(古町コジジ会館3階)内
- 業務時間内 新潟市中央区西堀地下 よろっ to ローサさま内
- 業務時間内 新潟市中央区新光町勤労福祉会館4階フードバンク事務局
- 業務時間内 新潟市南区「白根健康福祉センター」内
- 業務時間内 新潟市東区山ノ下「就労準備支援施設 晴れる屋」内

ふーどんの活動日誌

- ・4月21日、ライオンズクラブ総会でFD。
- ・5月8日、理事対象の研修講座。講師にえんではよごし理事長 山本美幸氏。
- ・5月29日、(株)福田組様、新潟福寿会様から支援金(チャリティー募金)寄付。
- ・5月29日、新潟連協ユースネットワーク様からFDによる食品寄贈。
- ・5月31日、新潟総合警備保障様から多量の災害備蓄品(缶詰類)の寄贈。
- ・6月3日、アジア国際映画祭とコラボレーションFD。(山崎)

さあ～NPOだ！パンクだぜい！

フードバンクが
フードバンクし
ないようにつ
てたの聞いてな
かったのか
ふーどん

えっ違う！だってNPO
ってニイガタパンク
オ…え～違うのお！

新テーマ型共同募金の結果

3ヵ月の間で82件の寄付があり、県共同募金会の加算助成額を加えた合計額は119万3199円になりました。皆さまありがとうございました。

♡ご協力 ありがとうございます♡

30年3月1日現在 団体・個人会員(敬称略・順不同) (団体会員47、個人会員 118名、賛助会員1)

・阿賀野市社会福祉協議会 ・オフィスサポートきずな ・自立援助ホームたいむ ・新潟県労働金庫 ・燕市 ・連合新潟・NPO 法人女のスペースにいがた ・(一社)新潟県労働者福祉協議会 ・新潟県総合生活協同組合 ・連合中越地域協議会 ・全農林労働組合新潟分会 ・石山味噌醤油(株) ・菊水酒造(株) ・有限会社大島鉄工所 ・UAゼンセン原信労働組合 ・(一財)新潟県ろうきん福祉財団 ・情報労連新潟県協議会 ・日本郵政グループ労働組合新潟連絡協議会 ・原信(株) ・NPO法人スマイルサポート新潟 ・一般社団法人パラシュート ・ワーカーズコープ北陸信越事業本部 ・新潟県高度情報社会生活支援センター ・一般社団法人ノブレス ・オブリージュ ・(株)アートグラフィック新潟 ・新潟市議会新市民クラブ ・日本共産党新潟市議会議員団 ・新潟市議会民主にいがた ・新潟市議会新潟市政クラブ ・新潟市議会公明党 ・ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟 他

30年3月1日現在 寄付金(敬称略・順不同) (28年4.1～30年3.31)

JU新潟、 県内各ライオンズクラブ

小泉直子、粹虎卯会、原信、大西和子、藤由栄子、イオンリテール、日本基督教団新潟教会、敬和学園高校 他多数

30年3月現在 食品寄贈団体・企業(敬称略・順不同)

・ささえあい農場 ・阿賀野市社会福祉協議会 ・新潟県労働金庫 ・石山味噌醤油(株) ・大和ハウス工業(株) ・福田組(株) ・JP 労組ユースネットワーク ・五泉市役所 ・粹虎卯会 ・丸栄製粉(株) ・亀田製菓(株) ・角利産業(株) ・新潟市他

30年3月現在 受入施設・団体(敬称略・順不同)

・地域活動C石山 ・ライフデザイン ・NPO 子どもセンターぼると ・新潟天使園 ・スペースひなた ・たいむ ・SCLLC ・新潟県、新潟市、長岡市パーソナルサポートC ・NPO ピュアはーと ・FLIP ・女のスペースにいがた 等の111団体

この他、寄贈いただいた一般家庭の皆様、生産農家の皆様、フードドライブを開催して下さった皆様、支援をいただいた会員の皆様に改めまして、感謝申し上げます。ありがとうございました。